

得点	演習問題			実施日	月 日	氏名
	飛鳥時代～奈良時代 ②					

【1】 次の文を読んで、下の各問いに答えなさい。

6世紀の末、中国では(①)が国土を統一したが、このころ日本では蘇我氏が他の家族をおさえて朝廷をしのぐほどになっていた。推古天皇の(②)となった聖徳太子は、蘇我氏の力をかりて政治を整えようとしていた。太子は(③)を設けて能力のある者を役人として用いたり、(④)を定めて天皇の権威を明らかにし、役人の心得を示した。さらに A 中国に使いを送ってその進んだ文化をとり入れ、対等の国交を行おうと努めた。

太子の死後、蘇我氏はますます勢いをふるい、やがて太子の一族をほろぼした。このようなとき、B 政治を改革しようと考えていた中大兄皇子らは、C645年、蘇我氏をほろぼした。

このころ、朝鮮半島では新羅が半島の統一をなしとげた。そこで皇子は国内の政治に力をそそぎ、大津で即位して(⑤)天皇となった、その後、壬申の乱で勝った天武天皇は、天皇の地位を高め、強力な政治を進めた。701年には(⑥)がつくられ D 律令政治のしくみが整った。そこで中国の都にならって、E 奈良に新しい都がつくられ、はなやかな貴族生活がくり広げられた。

(1) 上の文中の()にあてはまることばを答えなさい。

- ①() ②()
 ③() ④()
 ⑤() ⑥()

(2) 下線部 A の使いを何とよびましたか。
 ()

(3) 下線部 A の使いで、最も有名な人物を 1 人答えなさい。
 ()

(4) 下線部 B で、中大兄皇子を助けた最も中心的な人物はだれか。
 ()

(5) 下線部 C 以後、いろいろな改革が行われたが、これを何とよびますか。
 ()

(6) 下線部 D で、律令政治のしくみについては、どこの国を手本としましたか。
 ()

(7) 下線部 E の新しい都を何とよびましたか。
 ()

【2】 A 飛鳥文化、B 天平文化について、次の問いに答えなさい。

(1) 次のア～ウのうち、A、B の文化にあてはまるものを 1 つずつ選びなさい。 A() B()

- ア 奈良を中心に、8世紀ごろ、唐の影響を受けて、貴族的な仏教文化が栄えた。
 イ 天皇の新しい国家建設を背景に、力強く明るいふん囲気にあふれた仏教文化が、7世紀後半に栄えた。
 ウ 奈良盆地南部を中心に7世紀前半にわが国初の仏教文化がおこった。

(2) A、B それぞれの文化に関係の深い人物を下のア～エから 1 人ずつ選び、また、それぞれの文化を代表し、その人物と関係の深い寺院を答えなさい。

- A() B()

- ア 天武天皇 イ 仁徳天皇 ウ 聖武天皇 エ 聖徳太子

(3) A の文化に関係のある文化遺産を、次のア～カから 2 つ選びなさい。 ()

- ア 玉虫厨子 イ 仁徳天皇陵 ウ 正倉院の宝物
 エ 古事記 オ 百済観音像 カ 万葉集

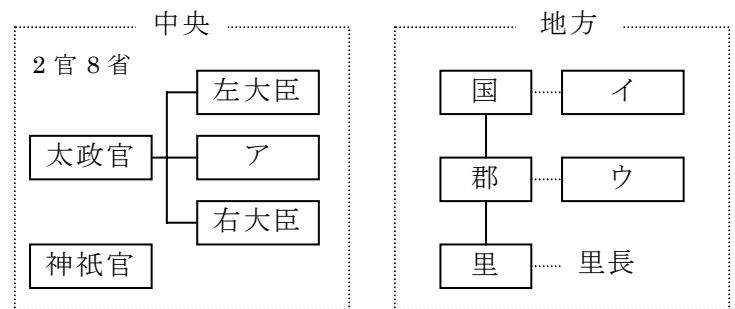
(4) B の文化の栄えていたころ、中国から渡来して仏教の教えを伝えた人物はだれですか。また、その人物が建てた寺院を答えなさい。 () ()

(5) 下の写真は現存する世界最古の木造建築である。この寺を何とよびますか。またこれを建立したのはだれですか。



- () 寺)
 ()

【3】 律令政治の内容について、下の各問いに答えなさい。



(1) 上の図は律令政治の役所のしくみである、このしくみが完成した年は西暦何年ですか。 () 年)

(2) 上の図のア、イ、ウにそれぞれあてはまることばを答えなさい。ア() イ() ウ()

(3) 律、令は、それぞれ何についてのきまりですか。律() 令()

(4) 6年ごとに戸籍をつくり、6 歳以上のすべての公民に口分田があたえられた。この制度を何とよびますか。 ()

(5) 公民には税が課せられたが、これらの税についてまとめた下の表の①～③にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

- ①() ②() ③()

		対象	内容
税	①	田	収穫の稲の 3%
	庸	成人男性	布
	②	成人男性	地方の特産物
労役	兵役	成人男性	
	衛士	成人男性	都の警備(1年間)
	③	成人男性	北九州の警備(3年間)

得点	演習問題〔解答〕			実施日	月 日	氏名
	飛鳥時代～奈良時代 ②					

【1】 次の文を読んで、下の各問いに答えなさい。

6世紀の末、中国では(①)が国土を統一したが、このころ日本では蘇我氏が他の家族をおさえて朝廷をしのぐほどになっていた。推古天皇の(②)となった聖徳太子は、蘇我氏の力をかりて政治を整えようとしていた。太子は(③)を設けて能力のある者を役人として用いたり、(④)を定めて天皇の権威を明らかにし、役人の心得を示した。さらに A 中国に使いを送ってその進んだ文化をとり入れ、対等の国交を行おうと努めた。
 太子の死後、蘇我氏はますます勢いをふるい、やがて太子の一族をほろぼした。このようなとき、B 政治を改革しようと考えていた中大兄皇子らは、C645年、蘇我氏をほろぼした。
 このころ、朝鮮半島では新羅が半島の統一をなしとげた。そこで皇子は国内の政治に力をそそぎ、大津で即位して(⑤)天皇となった、その後、壬申の乱で勝った天武天皇は、天皇の地位を高め、強力な政治を進めた。701年には(⑥)がつくられ D 律令政治のしくみが整った。そこで中国の都にならって、E 奈良に新しい都がつくられ、はなやかな貴族生活がくり広げられた。

- 上の文中の()にあてはまることばを答えなさい。
 ①(隋) ②(摂政)
 ③(冠位十二階) ④(十七条の憲法)
 ⑤(天智) ⑥(大宝律令)
- 下線部 A の使いを何とよびましたか。
 (遣隋使)
- 下線部 A の使いで、最も有名な人物を1人答えなさい。
 (小野妹子)
- 下線部 B で、中大兄皇子を助けた最も中心的な人物はだれか。
 (中臣鎌足)
- 下線部 C 以後、いろいろな改革が行われたが、これを何とよびますか。
 (大化の改新)
- 下線部 D で、律令政治のしくみについては、どこの国を手本としましたか。
 (唐)
- 下線部 E の新しい都を何とよびましたか。
 (平城京)

【2】 A 飛鳥文化、B 天平文化について、次の問いに答えなさい。

- 次のア～ウのうち、A、B の文化にあてはまるものを1つずつ選びなさい。 A(ウ) B(ア)

ア 奈良を中心に、8世紀ごろ、唐の影響を受けて、貴族的な仏教文化が栄えた。
 イ 天皇の新しい国家建設を背景に、力強く明るいふん囲気にあふれた仏教文化が、7世紀後半に栄えた。
 ウ 奈良盆地南部を中心に7世紀前半にわが国初の仏教文化がおこった。

- A、B それぞれの文化に関係の深い人物を下のア～エから1人ずつ選び、また、それぞれの文化を代表し、その人物と関係の深い寺院を答えなさい。
 A(エ) B(ウ)
 ア 天武天皇 イ 仁徳天皇 ウ 聖武天皇 エ 聖徳太子

- A の文化に関係のある文化遺産を、次のア～カから2つ選びなさい。 (ア オ)

ア 玉虫厨子 イ 仁徳天皇陵 ウ 正倉院の宝物
 エ 古事記 オ 百済観音像 カ 万葉集

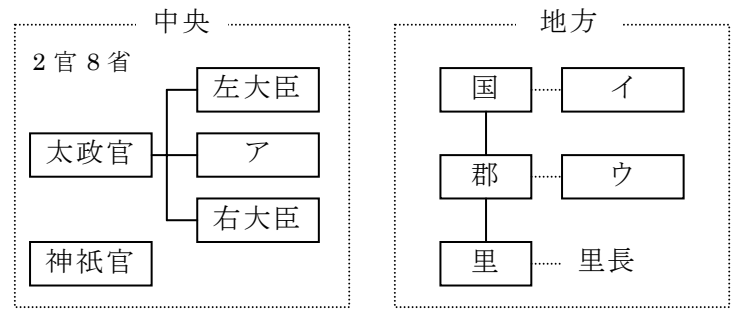
- B の文化の栄えていたころ、中国から渡来して仏教の教えを伝えた人物はだれですか。また、その人物が建てた寺院を答えなさい。 (鑑真) (唐招提寺)

- 下の写真は現存する世界最古の木造建築である。この寺を何とよびますか。またこれを建立したのはだれですか。



(法隆寺)
 (聖徳太子)

【3】 律令政治の内容について、下の各問いに答えなさい。



- 上の図は律令政治の役所のしくみである、このしくみが完成した年は西暦何年ですか。 (701 年)
- 上の図のア、イ、ウにそれぞれあてはまることばを答えなさい。
 ア(太政大臣) イ(国司) ウ(郡司)
- 律、令は、それぞれ何についてのきまりですか。
 律(刑罰) 令(一般の政治)
- 6年ごとに戸籍をつくり、6歳以上のすべての公民に口分田があたえられた。この制度を何とよびますか。
 (班田収授法)
- 公民には税が課せられたが、これらの税についてまとめた下の表の①～③にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。
 ①(租) ②(調) ③(防人)

		対象	内容
税	①	田	収穫の稲の3%
	庸	成人男性	布
	②	成人男性	地方の特産物
労役	兵役	成人男性	
	衛士	成人男性	都の警備(1年間)
	③	成人男性	北九州の警備(3年間)